



Newsletter

Professors, we are coming to tell you how useful WebCT is!

No.01



WebCT 活用事例 (1) : クイズとレポートを活用して、課外学習を促進させる

国際金融論 (社会科学部 石田三樹先生)

eLS ニュースレターでは、WebCT を利用されている先生を毎回お一人とりあげ、実践例として報告していきます。第一回は、アセスメント (オンラインテストを実施する、WebCT ツールの一つ) を活用して学生の予習復習をうながし、目覚ましい効果をあげている石田三樹先生 (社会科学部) です。

■ WebCT の利用を始めたきっかけを教えてください。

授業資料を配布したいというのが動機です。というのも、以前から西条と東千田の間で双方向の授業をやっていたのですが、何日も前に資料を準備して学内便で東千田に送付しておく必要があるんです。これが大変で、何かいい方法がないかと考えていたところ WebCT を使えばオンラインで資料が配布できると聞きまして、2002 年から始めました。

■ 当初は、WebCT に対してどんな事を期待されていましたか？

これで授業資料の配布や管理が楽にできる！と思いました。資料を事前に学生に印刷してもらうようにすれば、これまでのように授業中に配る必要もなくなりますから、時間の節約にもなります。また「前の週の資料を下さい」といってくる学生への対応も簡単にできるようになるな…と。

■ どのように WebCT を利用されていますか？

おもに使うツールは学習モジュールとアセスメント、メール、ディスカッションと成績表です。学習モジュールは、自著の教科書の追加部分の配布に使っています。メインはアセスメントですね。毎週のようにクイズやレポートを出すのですが、その両方でアセスメントツールを使っています。

■ アセスメントの利用法について、もう少し詳しく教えてください。

クイズは、自動採点機能が使えるように、短文形式で作っています。これは授業の予習、復習問題として提示しています。またレポートは、課題ツールではなくて、アセスメントの小論文形式の問題として作っています。受講生が 200 名近くいますが、3 回実施してすべて添削して返しています。これらと期末テストを 50:50 で評価すると宣言していますので、学生は一生懸命やっていますよ (笑)

■ 全部添削するんですか？紙でやっていた時と比べて、WebCT での作業はどうでしょう？

やり方さえ確立してしまえば WebCT でやる方が絶対早いと思います。とはいえ、矢印を描く等の自由度は下がりますし、コメント文も定型になりがちです。そのあたりの制限になじむように添削の仕方や問題の作り方を徐々に変えてきています。

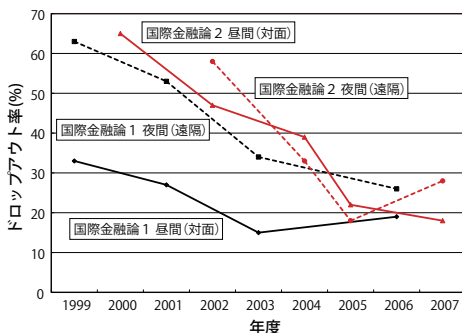


図 1: 「国際金融論」におけるドロップアウト率の変遷 (「WebCT を活用した遠隔授業の成果: 教育システム情報学会誌, 25(4), 2008, pp.403-413」 図 3 より)

石田先生たちは「経済学講義へのコース管理システムの体系的導入」というテーマで、教育工学の分野でも活発に発表されています。

レポートの扱いなんですけど、昨年までは PDF ファイルを提出させて、それにコメントを書き込んで返すというやり方でした。採点側の効率も高く、やりたいことが実現できているので良かったのですが、学生の負担は軽くなかったようです。PDF を作成することに対して、かなり困難を感じる学生も少なくないですから。

そこで現在のアセスメントツールを使う形式にしたら、学生の評判も良くなりました。ブラウザで書くだけで、手数が少なくてすみますからね。

■ WebCT を導入したことでどんな効果がありましたか？

授業計画を真剣に考えるようになりました。クイズやレポートを予復習のために用意し、かつ授業の内容と連動するように配置するのが効果的なわけですから、結局 15 週分の計画をきっちり考えて授業開始前に準備をするようになったんです。学生も大変でしょうが、何だか自分で自分をいじめているような気がします (笑)

効果といえば、試験の成績が上がったこと、ドロップアウト率が下がったこともあげられます。レポートをたくさん書かせるせいか、以前はドロップアウト率がものすごく高かったのです。これが、WebCT を導入してから、かなり下がってきました (図 1)。同じように宿題を出しているのにドロップアウトしにくくなっているのは、全体として理解度が高まっているからではないかと考えています。学生の勉強時間は確実に増えているし、授業もすごくやりやすくなりました。

学生からの評価も、とても良いですよ。「次回も WebCT の利用を望むか？」というアンケート項目では、9 割以上の学生が「望む」と答えています。

■ 授業をすることに、大学に期待する支援はありますか？

WebCT とは直接関係ありませんが、TA をもっとつけやすくしてほしいですね。学生の数が多いと、レポートの採点などは TA がいなくては無理です。200 名規模の授業だと 3 名は必要ですね。毎年 TA 経費の都合が大変です。

WebCT を使って得られた効果や、苦労話について、楽しそうに語ってくださいました。導入効果を数値として残しておられる事が印象的です。石田先生、長時間のインタビューにおつきあいくださり、ありがとうございました。(2009 年 9 月 10 日 / 石田研究室にて)

WebCT には様々な機能がありますので、まず授業に使えるツールを試してみたいことをおすすめします。ただし、あまり無理をしすぎないこと。教員にも学生にも、過大な負担は禁物です。無理は決して長続きしません。





2009年7月1日、広島大学学生情報の森「もみじ」がリニューアルしました

「もみじ」からのWebCT利用が簡単に！

WebCT Premium

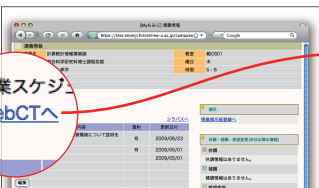
2009年7月1日、広島大学の学務情報システムが更新され、「学生情報の森『もみじ』」として稼働を開始しました。より深まった「もみじ」とWebCTの連携を紹介します。以下のURLもご参照ください。

<http://www.els.hiroshima-u.ac.jp/s/momiji/>

連携その1 「もみじ」からWebCTへのリンク

新「もみじ」には「講義情報」として、各講義に対して授業メモを書いたり講義資料をアップロードしたりする機能があります。関連する掲示や補講休講情報なども掲示され、その講義に関するさまざまな情報のハブとして働くことが期待されています。

講義に関連したWebCTコースが開設されている場合には、この講義情報ページからWebCTコースへ直接入れるようなリンク(シングル・サイン・オン・リンク)が表示されます。教員や学生は、「もみじ」から(WebCTのログイン操作をスキップして)直接WebCTの該当コースを開くことができます。



新「もみじ」の講義情報ページ



WebCT CE6に開設したコース

連携その2 履修データの自動同期

「もみじ」の講義とWebCTコースを関連づけている場合、学生が「もみじ」で履修登録をすると、翌日にはWebCTコースへも自動的に登録されます。自動登録作業は一日一回早朝に行われます。

自動登録の機能は、コースごとに実施するかしないかを設定できます。「もみじ」で履修取り消しをした学生は、WebCTのコースからも登録解除されます。

連携その3 2クリックでWebCTコースを開設

従来、WebCT Managerでコースを作成する場合には、講義名や開設時期などを入力設定する必要がありましたが、今回の連携により不要になりました。「もみじ」の講義情報のページにある「WebCTコースを開設」リンクをクリックするだけです。

「my もみじ」へログイン

講義情報を開く

授業スケジュール
WebCTコースを開設

講義に対応したWebCTコースがない場合には、「WebCTコースを開設」というリンクが表示される。

「WebCTコースを開設」をクリック

設定を確認して

「コース作成」をクリック

WebCTコース開設完了

教職員向けチュートリアルを配布中

WebCT CE6の使い方を説明したチュートリアルガイドを、コンテンツ作成支援室で作成しました。現在下記のURLでPDF公開中です。

<http://www.els.hiroshima-u.ac.jp/s/hajimete/>



イメージを拡大

はじめてのWebCT CE6

隅谷孝洋, 秋元志美, 原田久美, 林雅子, 長登康(著)

★★★★★ (10カスターレビュー)

価格: ¥0 学内便でお届け。詳細

在庫あり。在庫状況について

この商品は、els.hiroshima-u.ac.jpが印刷、発送します。

ご注文はお早めに。コンテンツ作成支援室まで。

出前講習会やっています



2009年度後期のコース開講準備に向けた出前講習会を実施中です。WebCTの利用方法をお知りになりたい方、コンテンツ作成の支援依頼を検討されている方、是非お申し込み下さい。参加者1名でも出前に伺いますので、お気軽にご利用ください。

実施期間	2009年8月17日(月)～2009年10月30日(金)
内容	受講申込者の希望される日時に研究室などに伺い、個別のご要望にお応えする講習会です。
申込方法	http://www.els.hiroshima-u.ac.jp/s/demae/ より。



eS ニュースレター 第1号

広島大学 教育室 コンテンツ作成支援室 発行
2009年10月1日

〒739-8521 東広島市鏡山 1-7-1
<http://www.els.hiroshima-u.ac.jp>

Tel/Fax : 082-424-2465

E-mail : els-admin@els.hiroshima-u.ac.jp